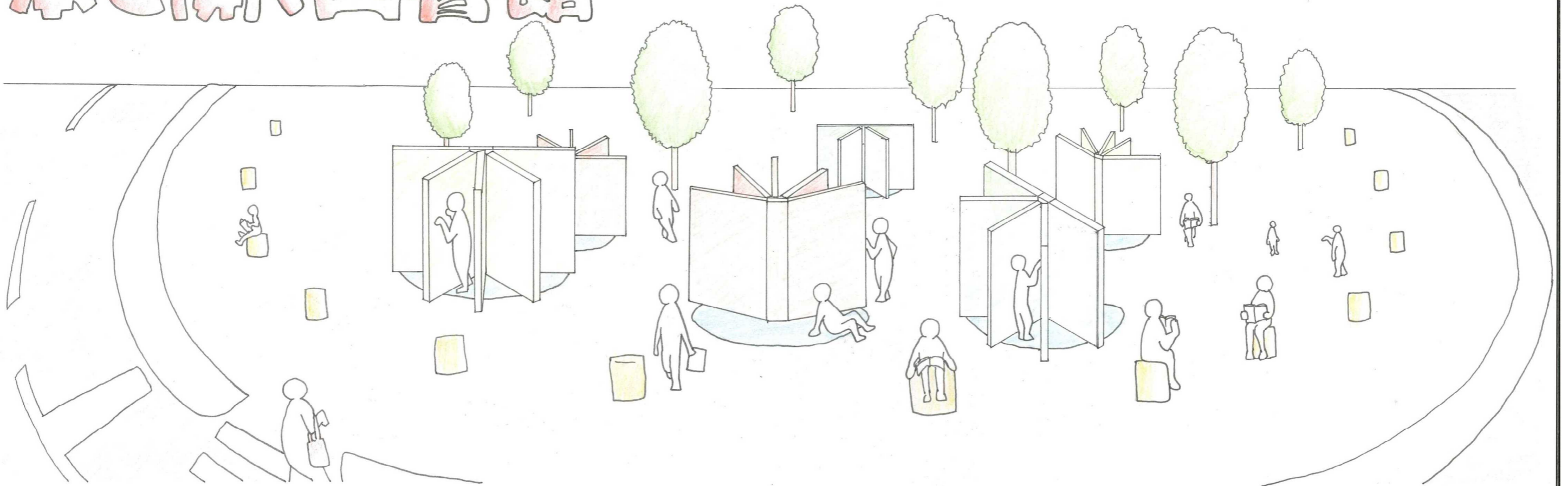


# 本と開く図書館



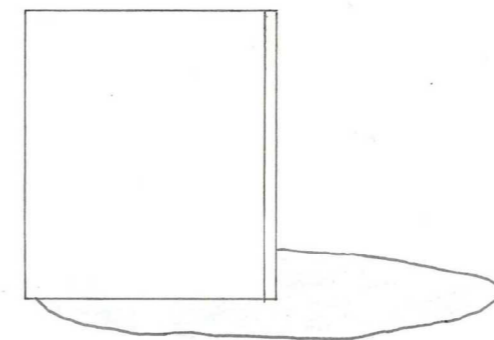
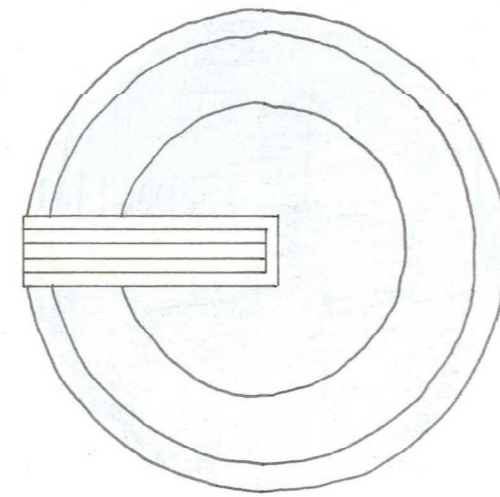
## コンセプト

図書館は静かでないといけないという固定観念がある。そして、本は室内で読むものだという観念も定着している。一方で静かである由に堅苦しいイメージができてしまい気軽に入りづらい。そのため新しい利用者が定着しづらい、利用者が少ない原因だと考える。私は、利用者を増やすためには、普段図書館を利用しない人が入りやすくなることか大切だと考える。

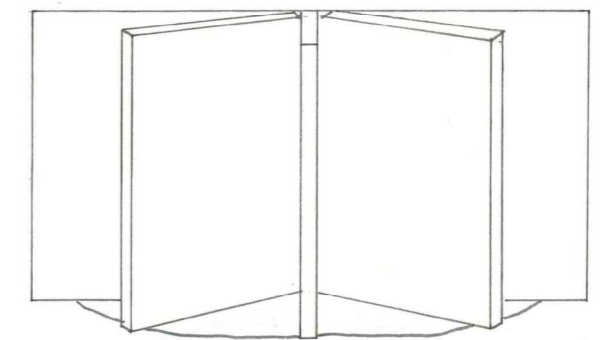
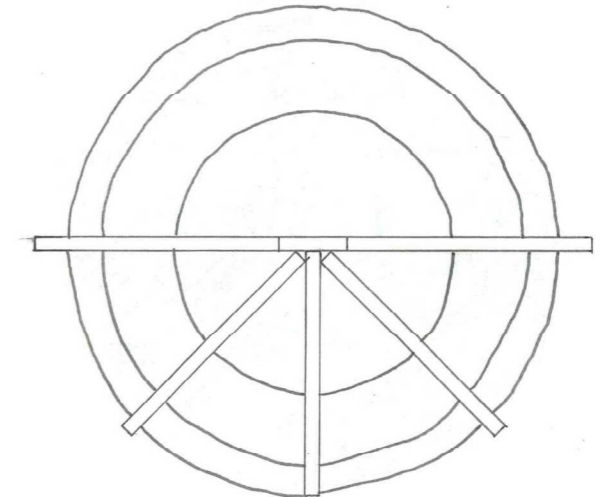
## 屋外の図書館について

図書館の壁を取り払うメリットについて、壁をなくすことで、図書館に入りやすくなり、外の音が聞こえるようになるため静かで堅苦しいイメージを消すことができる考えた。コロナ禍の点でも常に換気がされているため、感染防止にもつながる。本を管理するにあたっては、本に小型のGPSをつけることにより、本の貸し出し状況を確認しているため屋外でも管理できる。

閉館時



開館時



# 本の散歩道



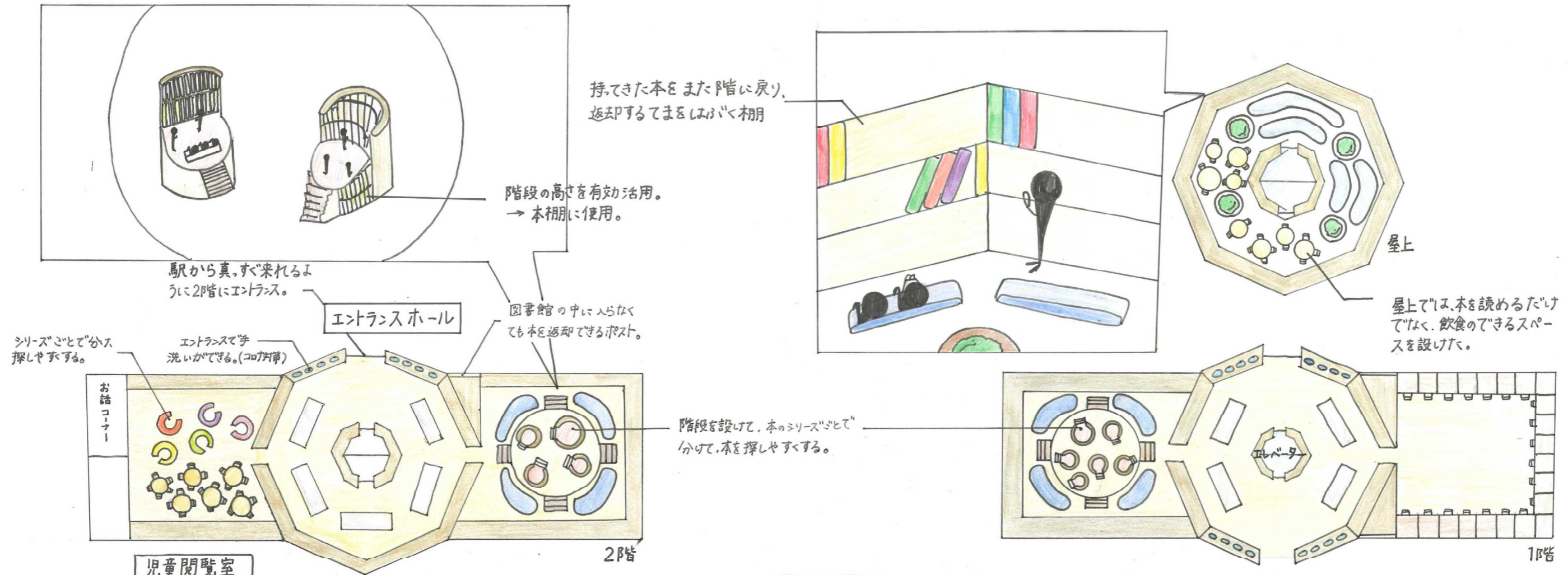
## コンセプト

この図書館は、ショッピングモールをイメージしてデザインした。

最近の図書館は、どこにどんな本があるのかが分かりにくいので、本を探すだけで時間がかかる。そこで、ショッピングモールのように一つの大きな建物の中にジャンル別に小さなブースを設ける。そして、そのブースごとに小人数の司書さんを配置する。小さなブースのため、蔵書数が少なく、情報量も少ないから、本を探すのにかかる時間が減る。ジャンル別にブースを設けるため、同じ趣味を持つ人が集まる。2階は、靴を脱いで上がる畳のフリースペースとすることで、アットホームな雰囲気になる。フリースペースでは読書は勿論、読み聞かせやサイン会などのイベントを開催し、人々との交流の場としても活用できる。

従来の図書館の「静かにしなければいけない」という固定概念を取り払った、温かみのある図書館である。

# ぬくもり図書館



## 児童閲覧室

1つ1つの本棚の色を変え、子供が自分で本を探しだせる工夫をした。座わりながら読めるスペースを用いた。

## 『ぬくもり図書館』

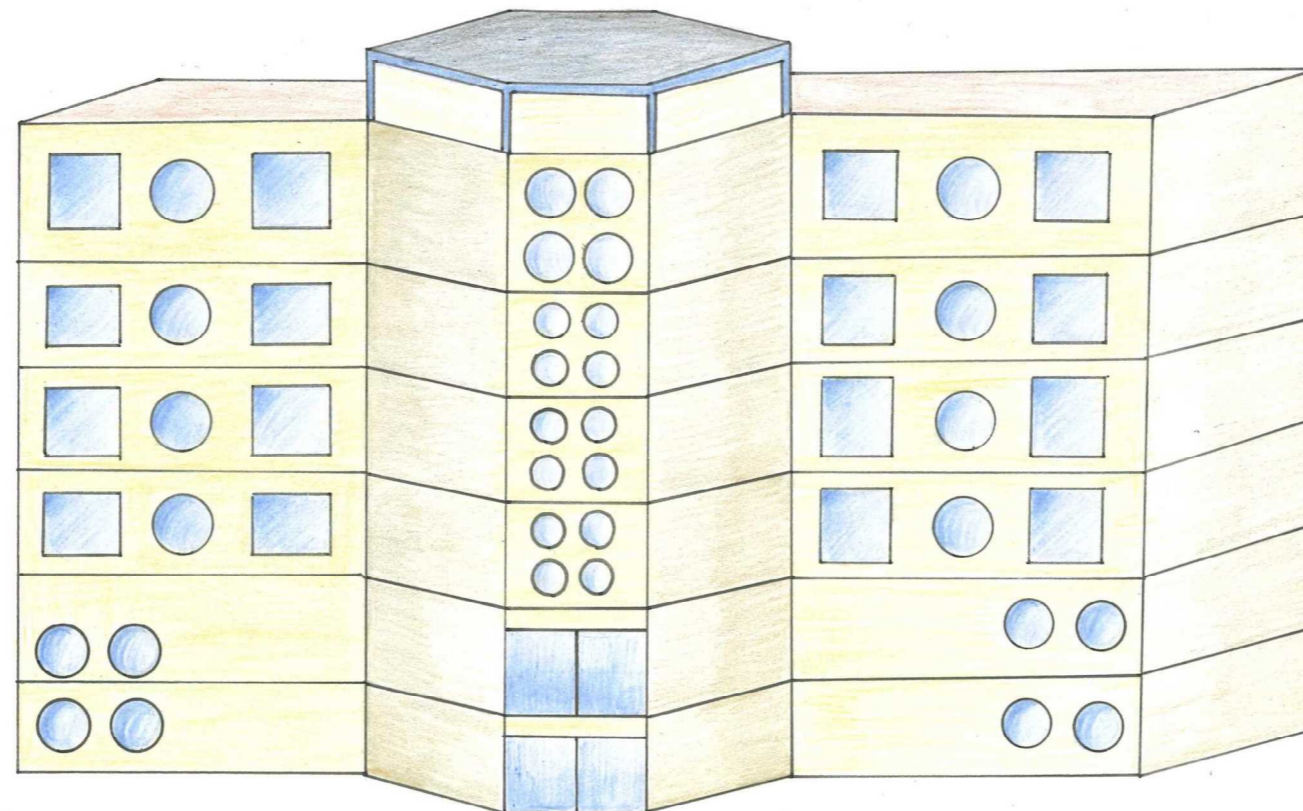
「本を読む＝室内」というイメージをくつがえしたいと思い、自然を感じながら本を読めるような図書館にした。屋上で本を読めるような空間を用いたり、窓を多く設けて開放感のある図書館にした。また、あたたかみを感じられる図書館にするために、木造にし、落ち着いた空間にした。本を読みながら、風、太陽のぬくもり・木の匂い・四季を感じられる図書館。

## 《コロナ対策》

コロナ対策として、エントランスホールに手洗い場を設けて、館内に少しでも菌が入らないようにしたり、図書館の外からでも借りた本を返却できたりするようにした。また、窓や屋上を設けて、換気などに配慮した。

## 《外観》

木造にし、内観だけでなく外観からもぬくもりを感じられ、初めての人も図書館に入りやすいように工夫した。また、屋上の屋根を暗めの色にし、シンプルさを強調した。中だけでなく、外からでも本のぬくもりを感じられるような図書館にした。

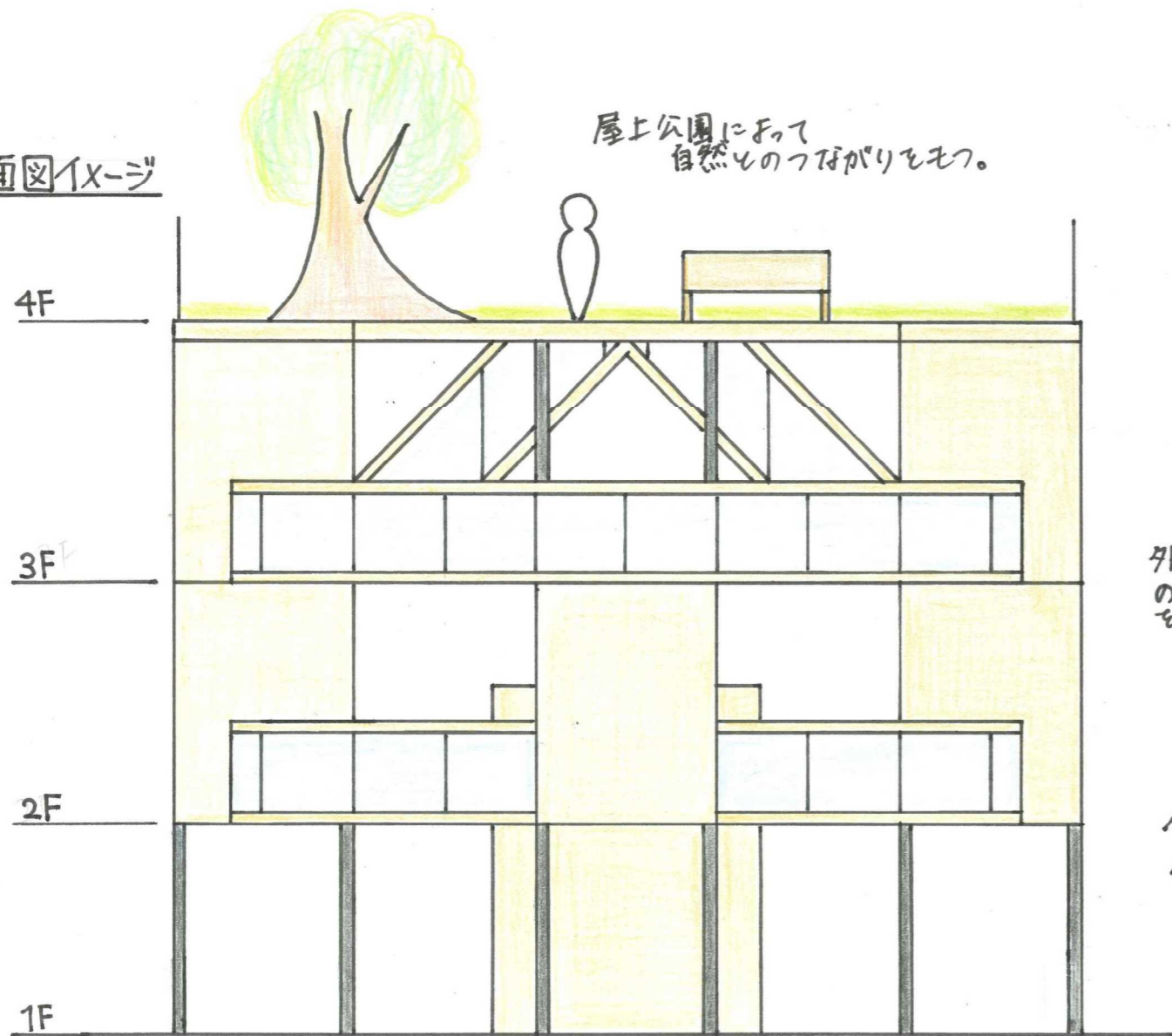


# BOOK TOWN

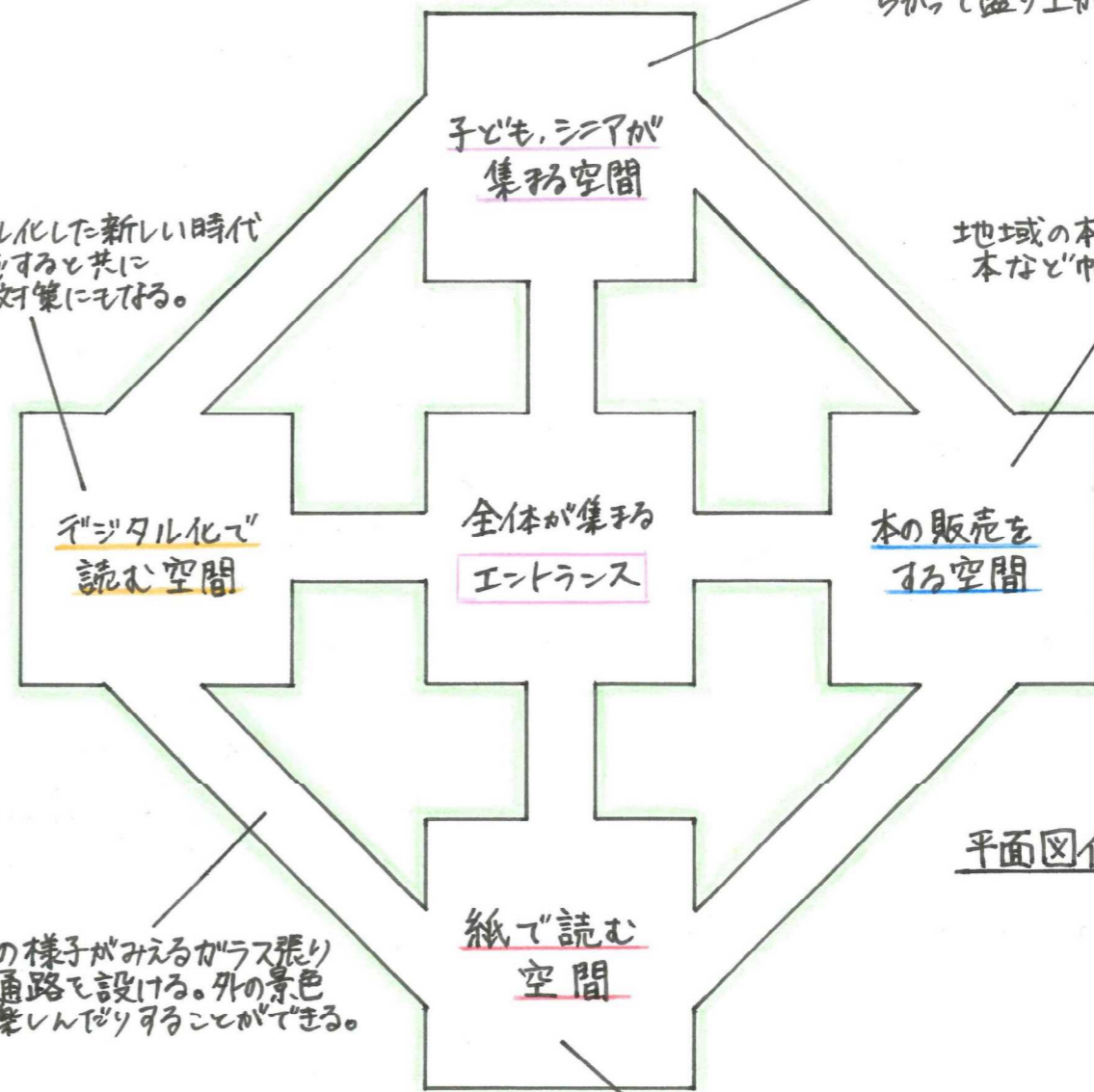
## コンセプト

- 本に関する機能をたくさんもった多機能図書食官 本のことならなんでも
- 個人の空間と人とのつながりがあえる暖かい空間であること。  
従来の図書館は公共の場でありながら、本を読むという個人的な場であるため、公共の、みんなの場であることを強調しつつも、従来の形を守るようにしたい。
- 本がデジタル化する中で、図書館を訪れる人が減っているため、図書館にいらったことが嬉しもうるげを兼ねて、訪れやすい場にした。

## 立面図イメージ



デジタル化した新しい時代に対応すると共にコロナ対策にもなる。



イベントなどを行うことでたくさんの方が集まるようになり、従来の図書館とほちがら盛り上がる事ができる。

## 平面図イメージ

外の様子がみえるガラス張りの通路も設ける。外の景色を楽しんだりすることができる。

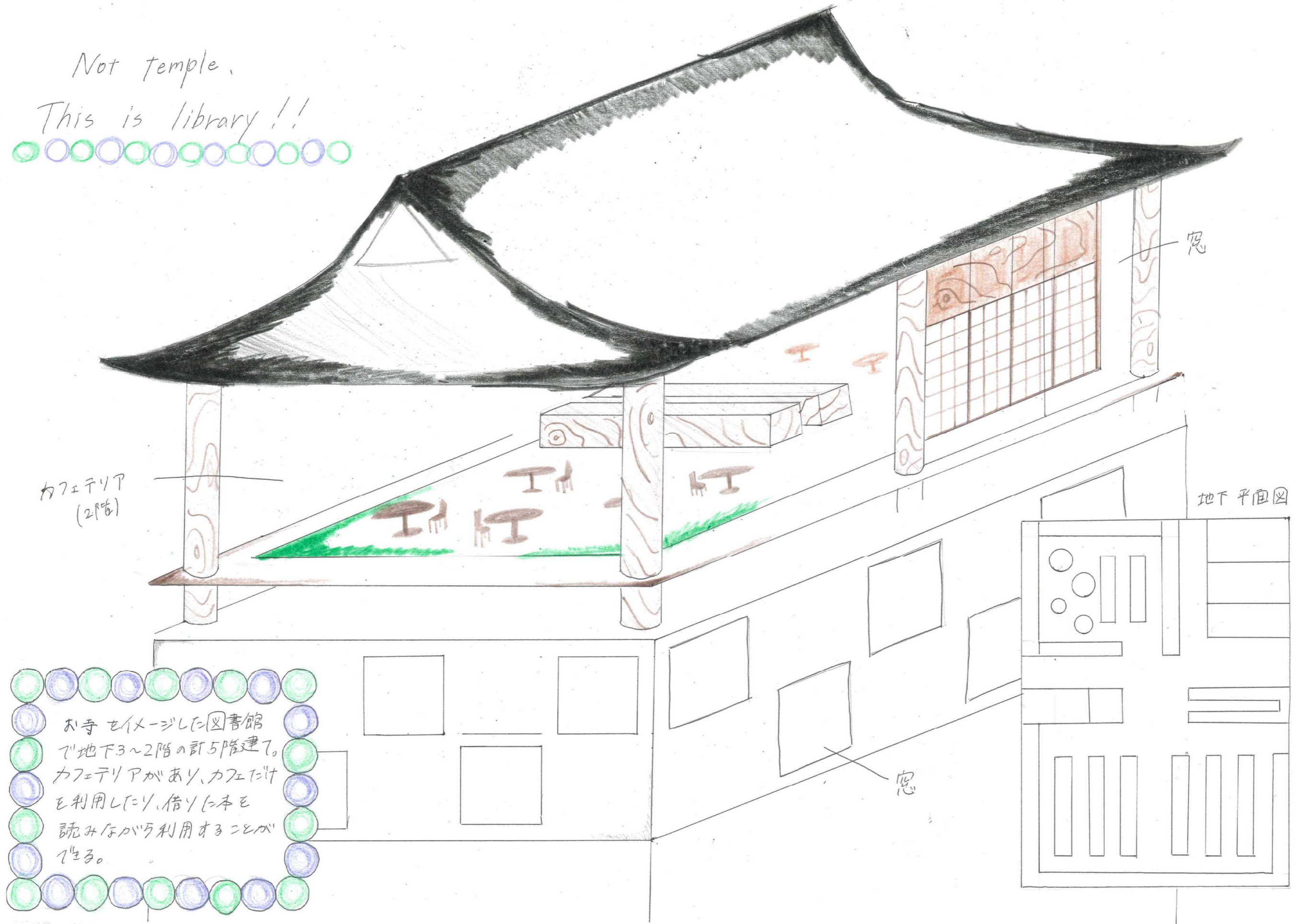
## イベント

例) 古本交換会  
 いらなくなった本をお互いに交換し合うことで新しい本と出会うことを目的とする。  
 日時: 〇月〇〇日(△) 10:00 ~ 16:00

すべての本をデジタル化するのではなく、紙で本を読むことの暖かさを感じられるようにする。

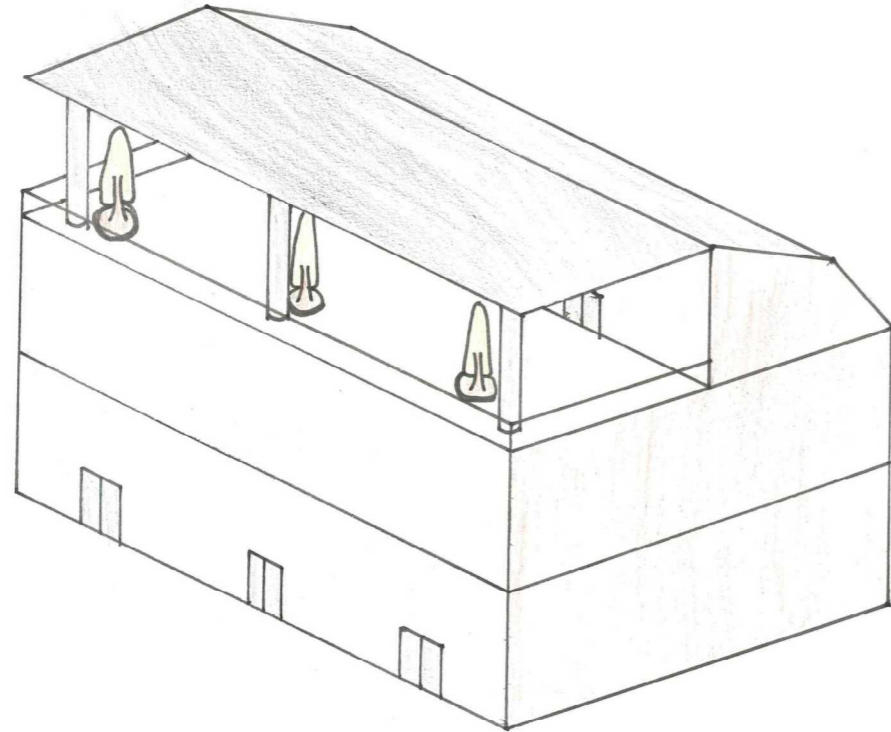
Not temple.

This is library!!



# 近未来図書館

## 外観

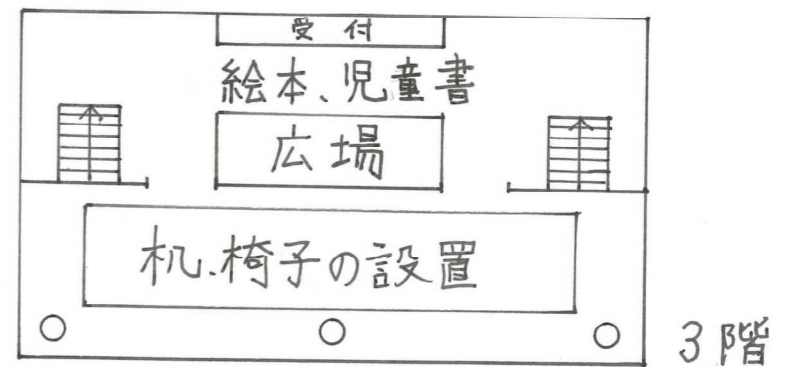
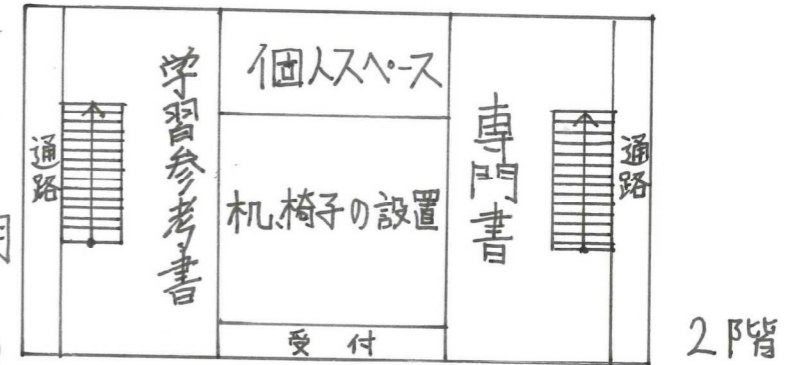
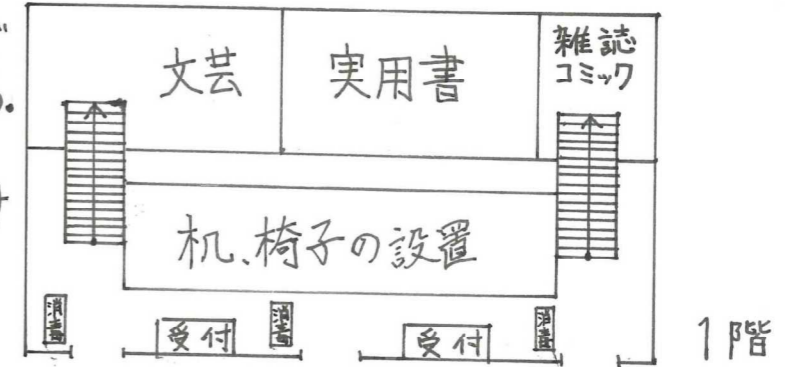


## 構造

- ・1, 2, 3階の正面をすべてガラス張りにする  
ことで室内も明るく換気も行える。
- ・3階に柱を設置し、屋根をつけることにより、  
屋外に机や椅子を設置すれば、外でも利用できる。
- ・屋外に植物を置くことにより自然を感じられる。
- ・2階に個人のスペースを設置する。
- ・本をジャンル別に設置する場所を変える。
- ・屋根にソーラーパネルを設ける

## 内観

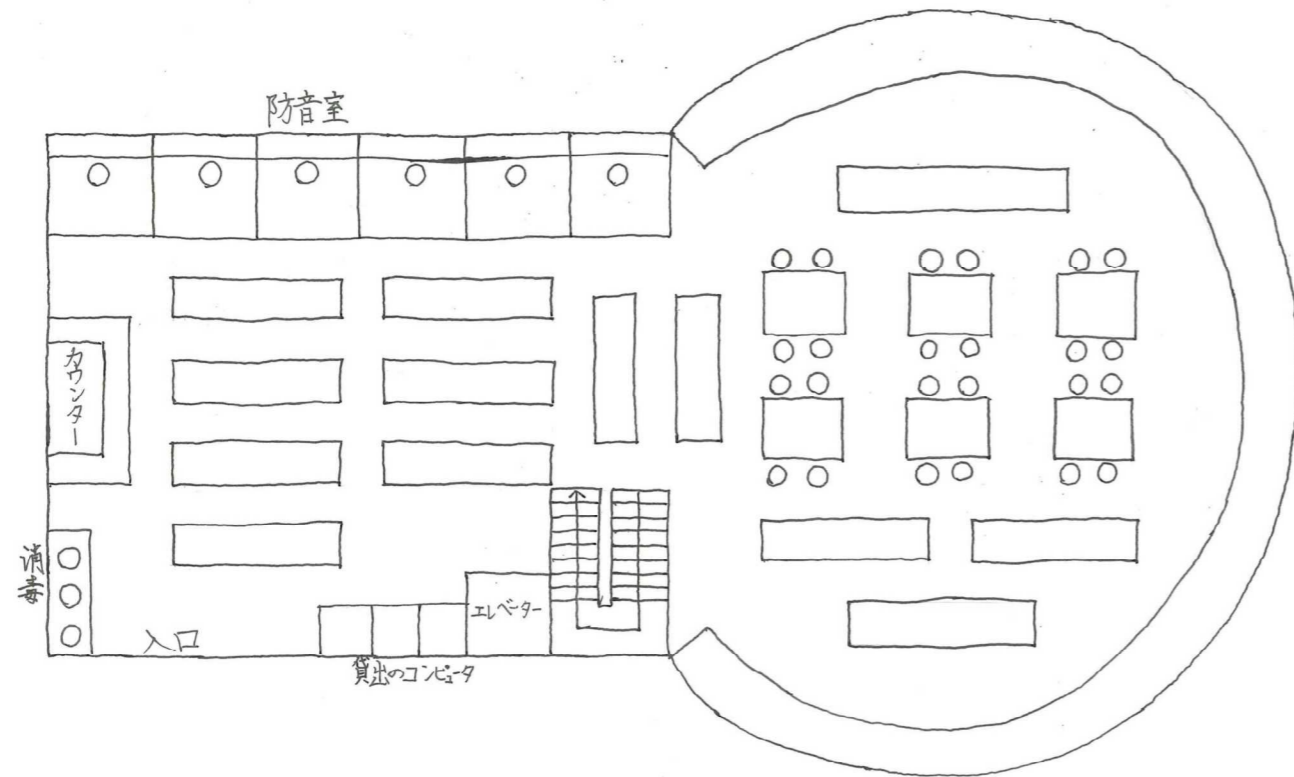
- ・入口を入ったらすぐ消毒できるようにする。
- ・受付を2カ所にする  
ことで、混雑を避けることができる。
- ・入口入って真すぐに階段がある。
- ・1階は図鑑、資料集  
などがあり、2階は  
主に勉強用の本が  
置かれている。
- ・3階は子供、児童用  
の本、絵本があり、  
広場も設置されている
- ・3階は屋外スペース  
があり、机、椅子が  
設置されているため、  
そこでも作業をする  
ことができる



## コロナ対策

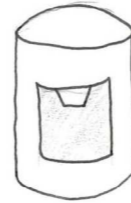
- ・3階は屋外スペースを設置することにより、外で  
本を読むことができ、密にもならない。
- ・机と椅子や本棚同士を間隔をとることで  
密にならない。

# 誰にでも優しい図書館



この図書館は誰でも便利に使えるように設計した。お年寄りや車椅子を使っている人に楽に上の階へ行く為にエレベーターを設けた。図書館で静かにするという概念を無くし人と話しながら読書をしたり勉強をしたりすることができる。また、静かに読書がしたい人の為に防音室を設けた。2階には遊び場を設けることで小さな子供でも楽しむことができる。子供の本のコーナーと遊び場の床は土足で入らないカーペットにして靴を脱いでリラックスできる。5階建にして3階から上の階は基本は2階と同じようにして遊び場だけ無くして防音室を設ける。

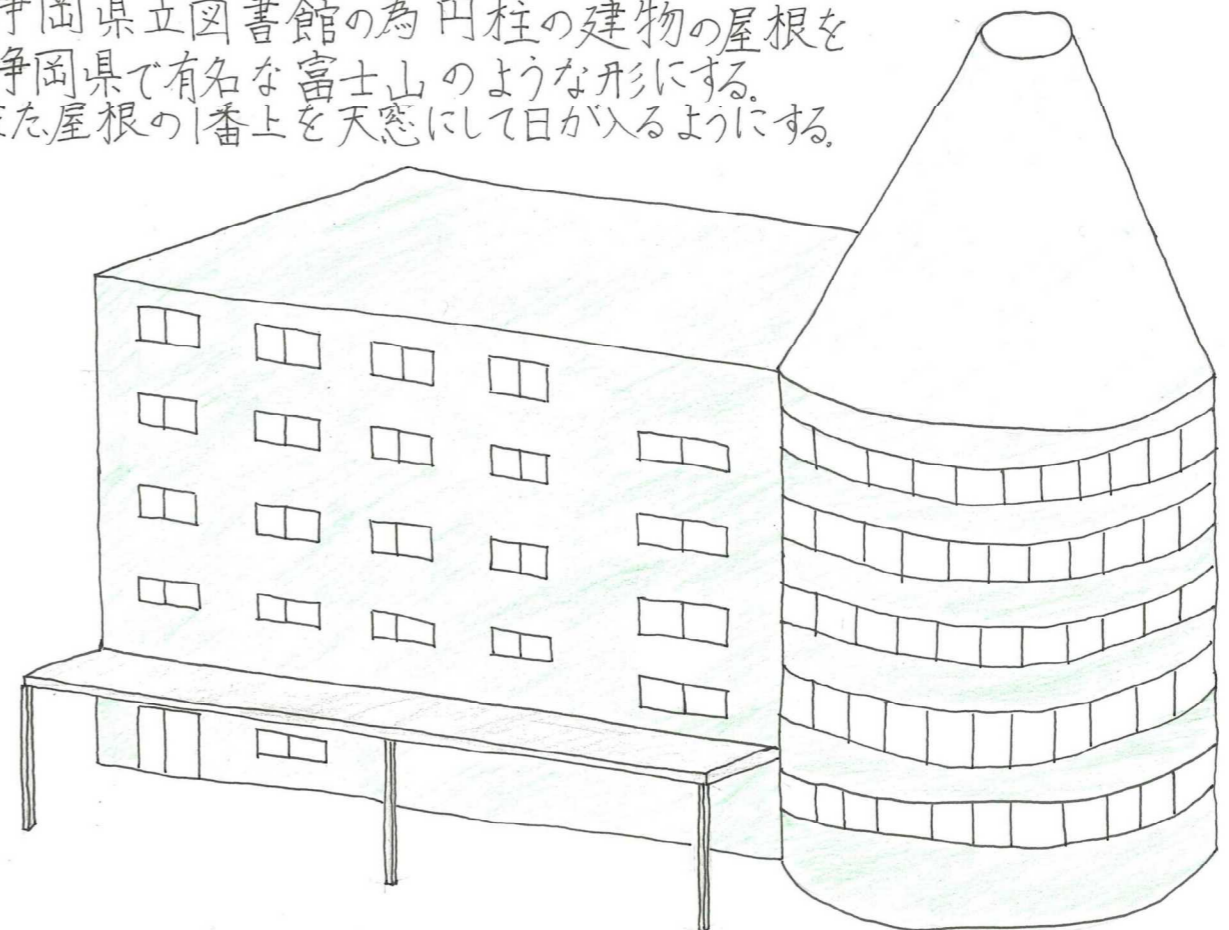
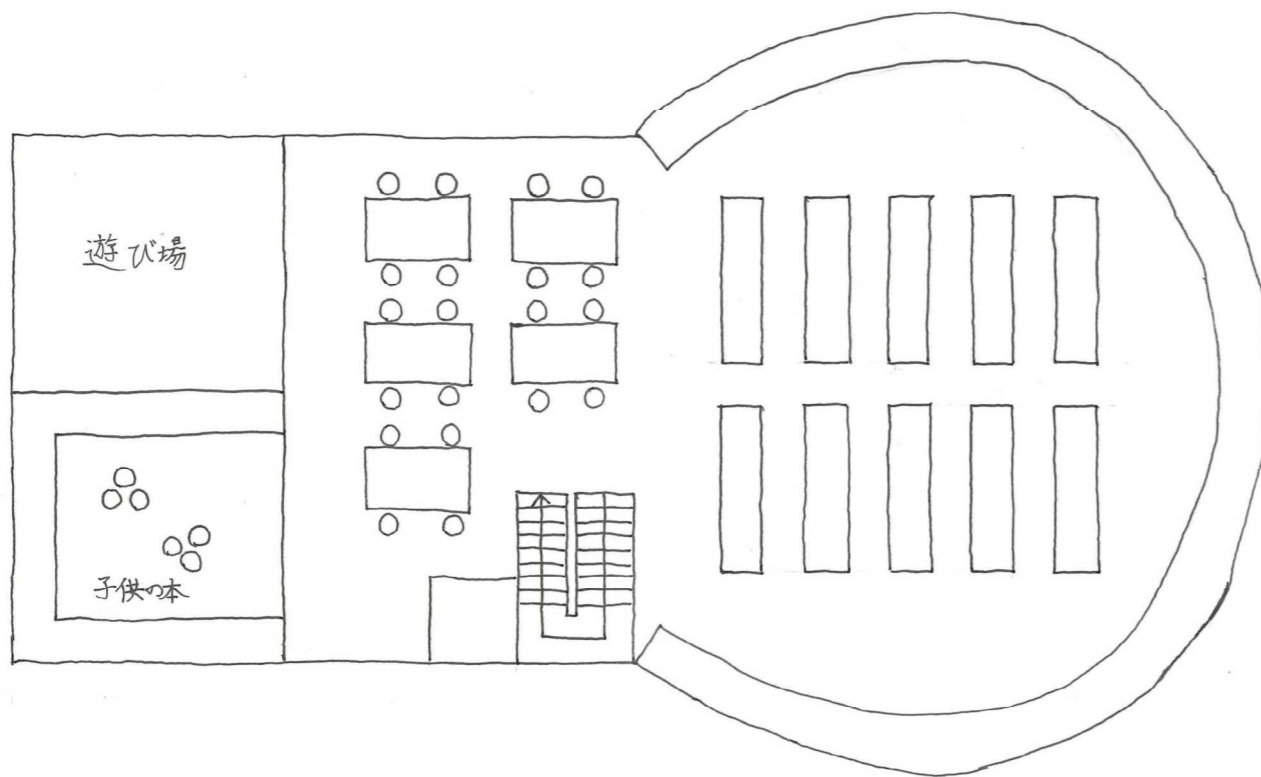
## 消毒



入口の近くに消毒を置き感染対策をする。手をかざすと自動でアルコールが出る。

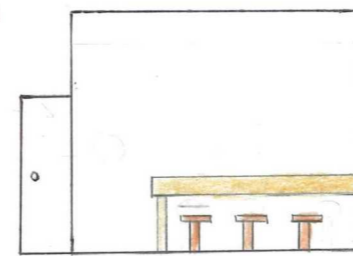
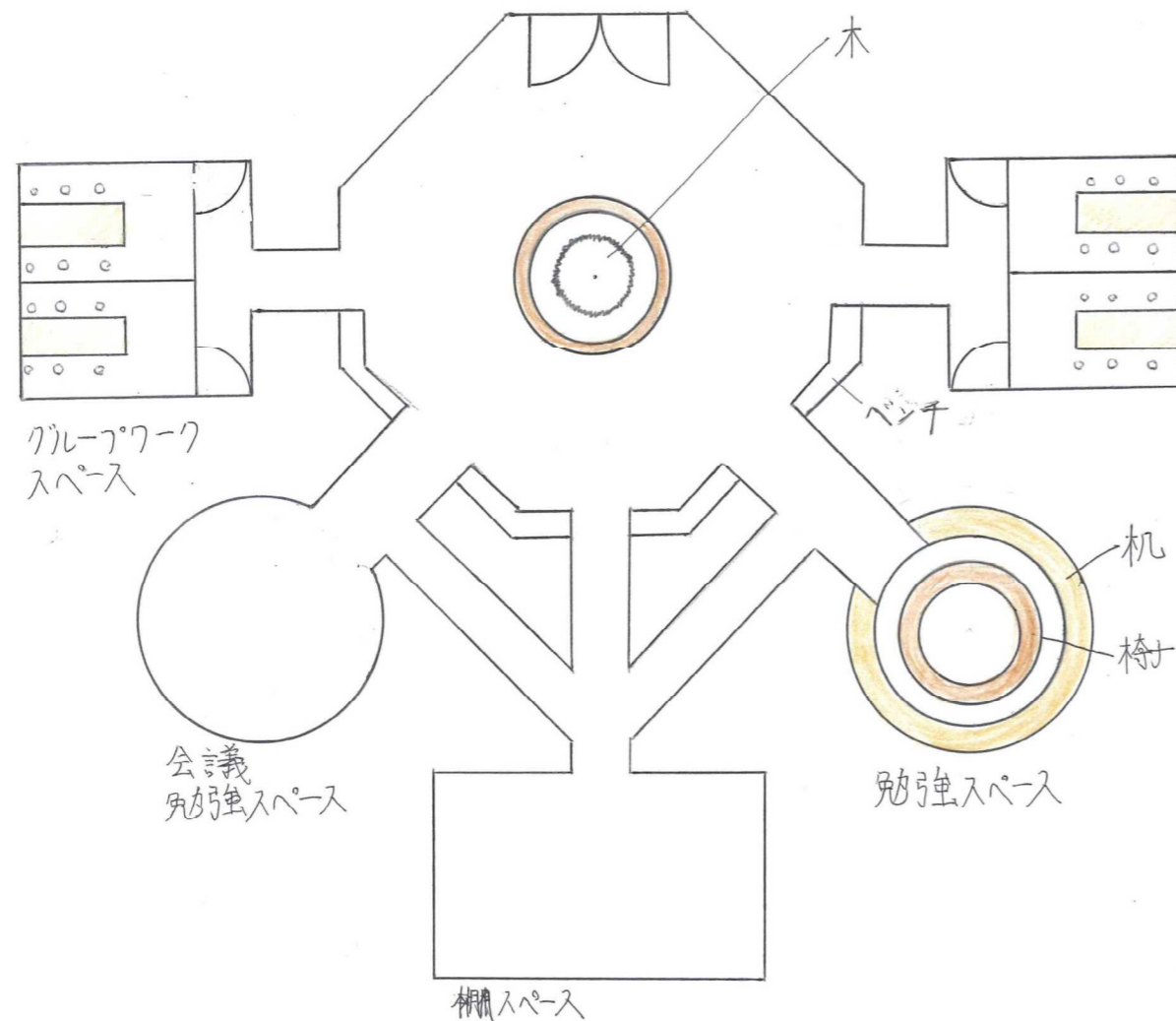
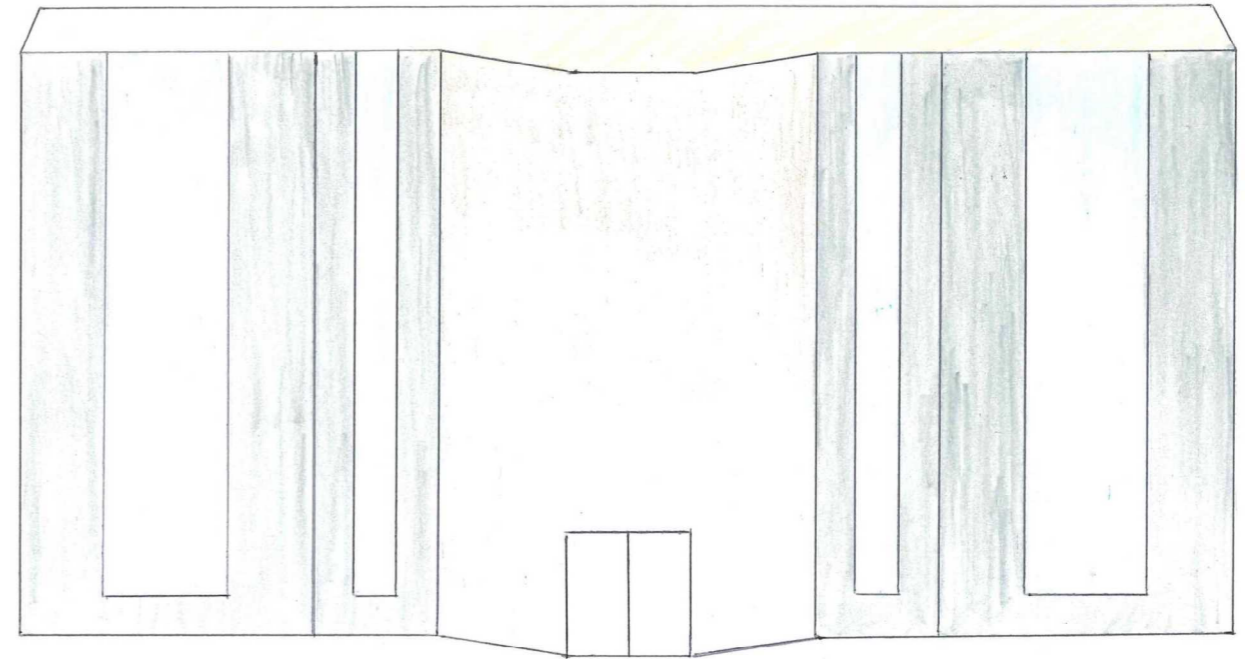
## 外観

静岡県立図書館の為円柱の建物の屋根を静岡県で有名な富士山のような形にする。また、屋根の一番上を天窓にして日が入るようにする。



# 緑のある図書館

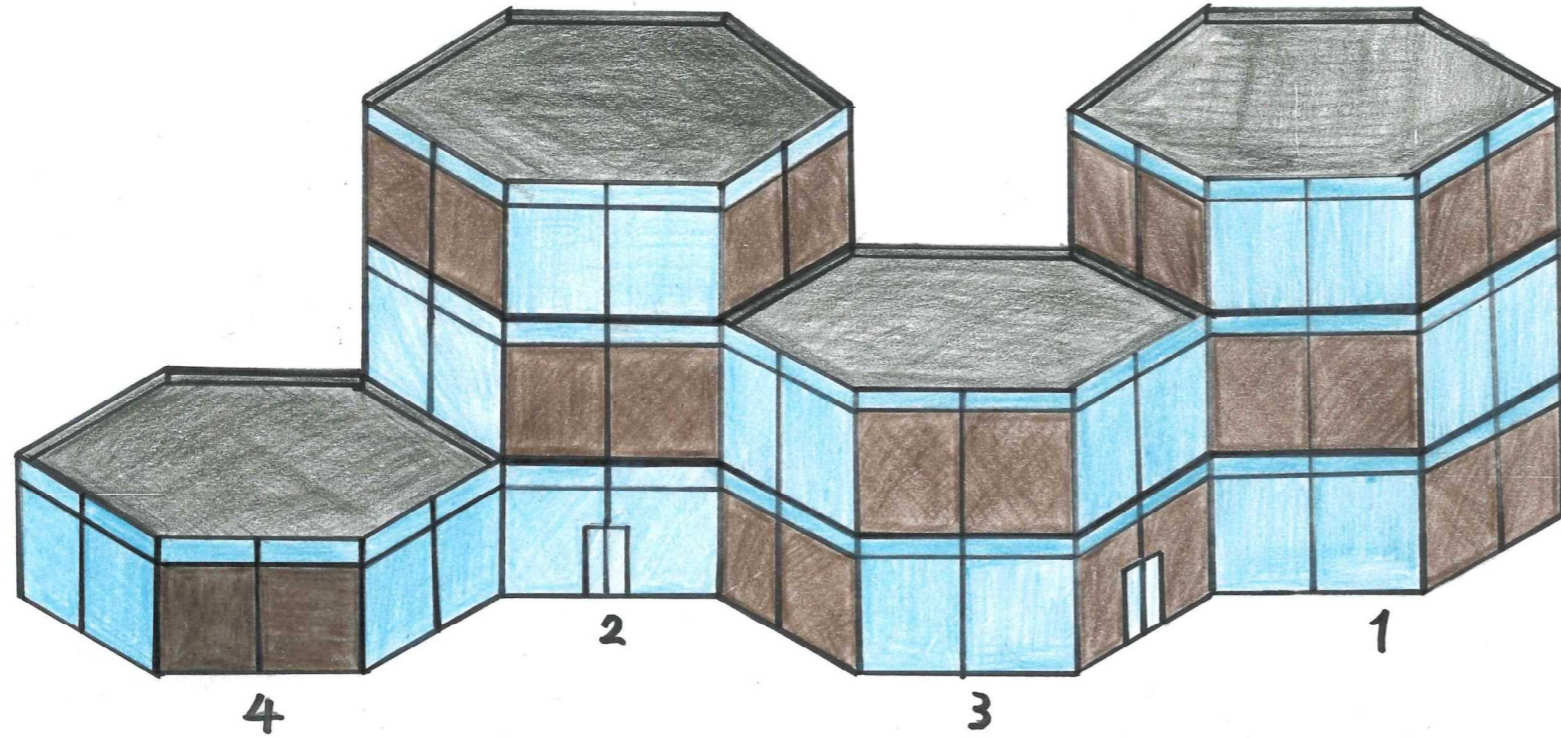
グループスペース、会議、勉強スペース  
 本棚スペースを1つ1つの部屋に分けることで  
 人の密をさげる。勉強スペースでは、机、椅子  
 をまわりの形にすることで、対面、飛沫を  
 さげる作りとなっている。本棚スペース、勉強  
 スペースを廊下でつなげることで、勉強してい  
 る人がすぐに本を取りにいけることができる。  
 グループワークスペースを作り人々のニーズに  
 応えられる図書館にした。



図書館の中心には木が植えてある。その木  
 は浜松市を象徴する松である。松の樹齢は  
 約750年。松の木と共に浜松も育っていて  
 ほいという思いで図書館の中に松の  
 木を植えた。  
 また、松の木を囲むようにしてベンチを配  
 置することで読書をしながら緑を感じら  
 れるようにした。



# OPEN Library!! ~4棟の八角形図書館~



この図書館は、今世界が注目している“コロナ”の対策をしっかりと  
しつづ、700年、ずっとこの先も使えるような図書館である。  
〈コロナ対策〉

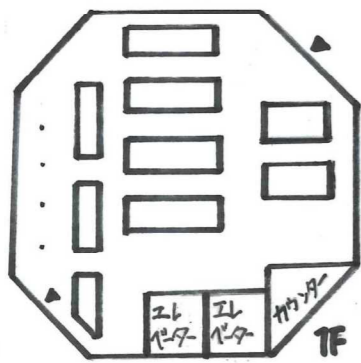
- ・全ての面に窓が設置されておりいつでも換気ができる。
- ・広くスペースをとることで接触をさけることができる。

〈100年つかえるように〉

- ・大人も子ども、どの年代にも使いやすくなっている。

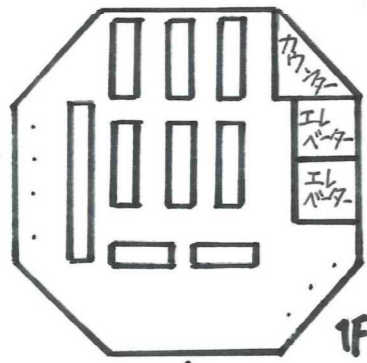
- 例)
- ・大人用スペース、子ども用スペースと分けてある。
  - ・親子で気軽に使えるスペースの設置。
  - ・休けいができるようにカフェの設置。
  - ・勉強、読書スペースの設置。

## 1. 大人用



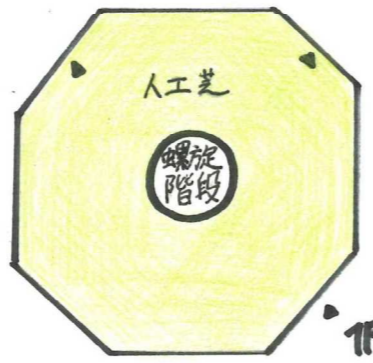
2F3F

## 2. 子ども用



2F3F

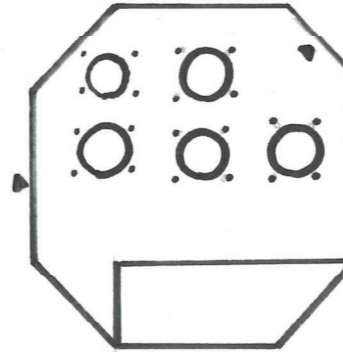
## 3. 勉強読書・自由スペース



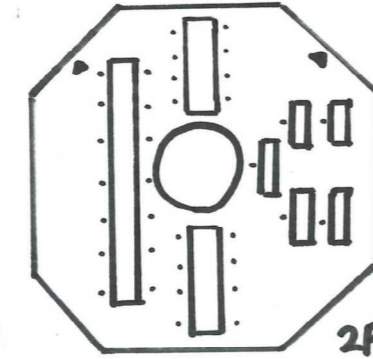
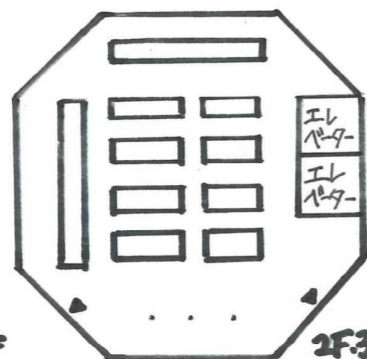
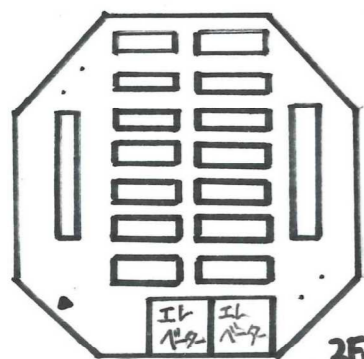
1F

- ・床がすべて人工芝のためどこにでも座ることができる。
- ・軽い運動が可能
- ・話してもよいスペース

## 4. カフェエリア



- ・4人掛け用丸テーブルが5個用意されている。
- ・コーヒー・紅茶・スイーツなどが楽しめる。
- ・本の持ち込み可
- ・Wi-Fi完備



2F

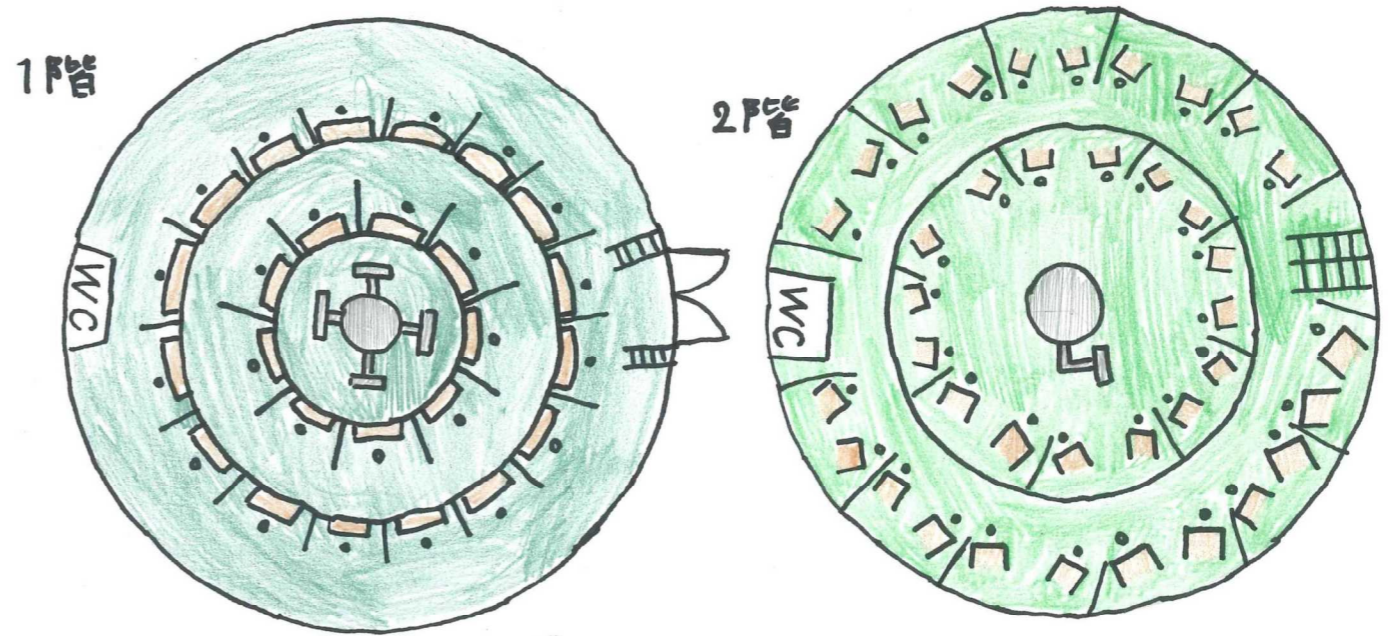
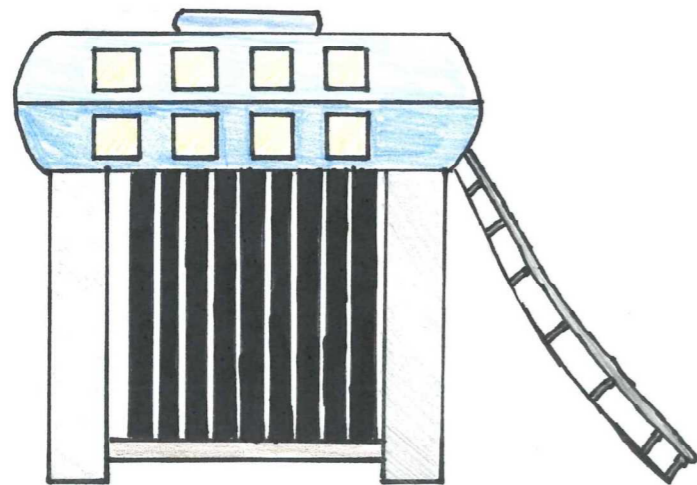
- ・多人数用の大テーブルと個人用の小テーブルが用意されている。

# 未来図書館

## コンセプト

本を取りに行く際の人同士のみ、ペイをさける図書館を提案する。  
自分の席に着いたら、そこから動かなくても、自動的に自分の席に本が届くようにし、人同士が本棚などで密閉するのを防ぐようにした。

## 外観

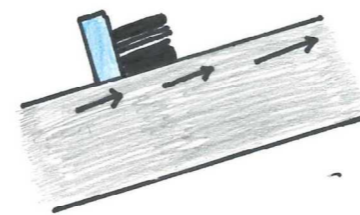


※ 中央のモニターからは、座席の空きじょうきょうや人気の本などが映し出される。

## 具体案

- 自分の座席に取り付けられたパソコンに欲しい本を入力すると、地下の本棚から指定された本がレールに乗って届く。レールは本を置く面が歩道(自動で動く)みたいになっていて、本が落ちないための支えが後ろについている。

図



レールのスピード  
秒速 4m

※ 1つの机に1つのレールがつながっている

- 座席は木の壁で区切り感染症対策をする。

図...本が出てくる所



レールとつながっていて  
ここから本が出てくる。